

令和 7 年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

熊本大学

令和 8 年 8 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程の整備状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を整備している。 ☐ 機関内規程を整備しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を整備していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「熊本大学動物実験等に関する規則」
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（平成 18 年環境省告示第 88 号。以下「飼養保管基準」という。）、研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（平成 18 年文部科学省告示第 71 号。以下「基本指針」という。）に則した機関内規程が適切に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期

2. 動物実験委員会の設置状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 「熊本大学動物実験等に関する規則（第 4 章）」
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 動物実験委員会は、文部科学省の基本指針に適合しており、適正に運営されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「熊本大学動物実験等に関する規則（第 5 章）」、「動物実験計画書」、「動物実験報告書」、「動物

実験施設設置（新規・変更）承認申請書」、「実験室設置（新規・変更）承認申請書」、「施設等（動物実験施設・実験室）廃止届」
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 基本方針に則した規則及び各種申請書類等の様式が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) <u>病原体の感染動物実験</u>・・・「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設使用心得」、「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設の新館の使用心得」、「ヒトアデノウイルスベクターを用いた動物接種実験のガイドライン」、「熊本大学病原体等安全管理規則」 (2) <u>有害化学物質の投与動物実験</u>・・・「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設有害物質投与動物実験実施要項」、「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設使用心得」、「有害物質を用いた動物実験に関するガイドライン」、「国立大学法人熊本大学化学物質管理規則」、「国立大学法人熊本大学化学物質取扱要項」、「国立大学法人熊本大学中央安全衛生委員会化学物質管理専門委員会細則」 (3) <u>放射性物質・放射線使用動物実験</u>・・・「生命資源研究・支援センターアイソトープ総合施設における動物実験に係る手順書」、「熊本大学放射線障害防止規則」、「熊本大学放射線障害防止規則実施細則」、「熊本大学（生命資源研究・支援センターアイソトープ総合施設）放射線障害防止規則」、「熊本大学（生命資源研究・支援センターアイソトープ総合施設大江地区アイソトープ施設）放射線障害防止規則」「熊本大学(生命資源研究・支援センターアイソトープ総合施設黒髪地区アイソトープ施設)放射線障害防止規則」 (4) <u>遺伝子組換え動物を用いる実験</u>・・・「熊本大学遺伝子組換え生物等第二種使用等安全管理規則」、「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設使用心得」、「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設有害物質投与動物実験実施要項」、「生命資源研究・支援センターアイソトープ総合施設における動物実験に係る手順書」、「熊本大学生命資源研究・支援センター遺伝子実験施設利用内規」、「熊本大学生命資源研究・支援センターにおける受託に関する規則」

3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 各種の安全管理に関する規則等が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した、適正な飼養保管の体制である。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」、「実験室設置（新規・変更）承認申請書」 (2) 熊本大学における「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (3) 熊本大学における「実験室設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (4) 熊本大学における「動物実験施設の定期調査に関する申し合わせ」 (5) 「熊本大学動物実験等に関する規則（第8章）」 (6) 熊本大学における動物実験施設に係る地震、火災、人と動物の共通感染症の発生等緊急時にとるべき措置の計画 (7) 実験動物逸走時の連絡体制
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 機関内規則等が適正に定められており、飼養保管体制は整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取組及びその点検・評価結果）

--

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 動物実験委員会の開催日時及び審議内容の記録 (2) 「熊本大学動物実験計画書」の調査・審議内容の記録 (3) 熊本大学における「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (4) 熊本大学における「実験室設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (5) 教育訓練の実施日、教育内容、受講者数の記録
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 熊本大学動物実験等に関する規則や動物実験委員会での判断基準等に基づき、適正に活動している。また、委員会の開催日時及び審議内容について記録を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「熊本大学動物実験計画書」、「動物実験中止・完了報告書」、「動物実験報告書」 (2) 「熊本大学動物実験計画書」に対する動物実験委員会での審査内容の記録 (3) 動物実験より得られた成績（論文）の報告書
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 熊本大学動物実験等に関する規則に基づき、適正に実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ■ 該当する動物実験を適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 「熊本大学動物実験計画書」、「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」、「実験室設置（新規・変更）承認申請書」 (2) 熊本大学における「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (3) 熊本大学における「実験室設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が整備されており、改善を要する事案は発生していない。
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) <u>自己点検報告書</u>・・・各動物実験施設の自己点検票 (2) <u>飼養保管手順書</u>・・・「新館標準操作手順書」、「動物資源開発研究施設・本館における標準操作手順書」、「飼育業務担当者用作業マニュアル」、その他の動物実験施設における飼養保管手順書 (3) <u>各種マニュアル</u>・・・「新館災害対応マニュアル」、「マウス生殖工学技術マニュアル」、「マウス飼育マニュアル」、「マウスの生態」、その他の動物実験施設における各種マニュアル (4) <u>関連書類</u>・・・「空調設備その他の運転及び設備管理業務の業務内容」、「実験動物飼育ケージ洗浄及び清掃業務内容」、「事務管理業務」、「実験動物逸走時の連絡体制」、「導入時検疫関連書類」、「入手先関連書類」、「飼育履歴関連書類」、「病歴関連書類」、「輸送関連書類」、「空調関連書類」、「連絡網関連書類」、「熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施

設（新館）使用に関する申し合わせ」
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 熊本大学動物実験等に関する規則及び各施設の手順書に基づき、適正に実施している。 また、各施設から提出された自己点検票の内容も確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に維持管理している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 飼養保管施設を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 熊本大学における「動物実験施設設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (2) 熊本大学における「実験室設置（新規・変更）承認申請書」に関する動物実験委員会での判断基準 (3) フロンガス簡易点検結果報告書（2024.6）、検水槽清掃（2024.6） 熊本大学施設管理システム安全衛生対策チェックリストによる自己評価、R6 年度学内営繕要求事項、動物飼育記録用紙、高圧蒸気滅菌装置性能検査証（2025.3）、フロンガス簡易点検結果報告書（2025.6）、新館・空調機等運転作業報告書・日誌、貯水槽清掃（2024.9）・検水槽清掃（2025.6） (4) 動物実験施設定期調査結果一覧 (5) 各動物実験施設の自己点検票
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 各施設の定期調査を行い、基本方針及び飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されていることを確認している。また、各施設から提出された自己点検票の内容も確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
--

2) 自己点検の対象とした資料 (1) 教育訓練の実施日、受講者氏名の記録 (2) 教育訓練資料
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 動物実験実施者及び飼養者に対する教育訓練を実施し、受講者の氏名や受講完了日などを記録している。
4) 改善の方針、達成予定時期

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、飼養保管基準を遵守した上で、適正に実施している。 ☐ おおむね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 (1) 自己点検・評価・・・今回の自己点検・評価結果は情報公開予定 (2) 関連事項の情報公開・・・熊本大学における実験動物と動物実験に関する規則、熊本大学におけるその他の主要な実験動物と動物実験に関する規則、各種様式については、熊本大学のホームページにおいて情報公開済み。
3) 評価結果の判断理由（判断理由とともに、改善すべき点があれば明記する。） 熊本大学ホームページ（動物実験等に関する情報）において、「熊本大学における実験動物と動物実験に関する規則」、「自己点検・評価報告書」、「外部検証結果報告書」など、本学における動物実験等の実施に関する情報を公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし
